

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



張戸真木線を現地視察

条 例

飯南町チャレンジオフィスの設置及び管理に関する条例の制定

赤名連垣地にある福島邸を、飯南町チャレンジオフィスとして活用し、新産業の創出および多様な産業の育成を図る。

審査意見

住民の活動を阻害することが無いよう求めた。後日、住民の活動からは利用料を徴収しないと報告を受けた。これを遵守されたい。

令和2年度 飯南町一般会計予算

担い手育成総合支援事業 604万円

新規就農者4名の機械設備導入を支援するもの。機械を持たない新規就農者への支援は重要であるが、効率的経営を実践するためには、パソコンも併せて導入すべき。栽培技術研修のほか会計処理や文書作成などの研修も行い、経営上、必要な技術を習得出来るよう求めた。

木質バイオマス推進事業 382万円

飯南町バイオマスセンターにおける、未利用材買取補助金、里山商品券印刷費などである。当センターは休止状態である。再稼働の見通しについての質問に対し、事業主体者とおが粉の含水率を下げるための方策を検討しているとの回答だった。事業主体の変更を含め、検討を求めた。

令和元年度 飯南町一般会計補正予算(第7号)

琴引スキー場外経常管理費 2200万円

スキー場入り込み客数が、3万2千人を下回るにより指定管理料が発生。

5年連続で発生しており、合併協議の内容に照らし、適切な対策を講じるよう求めた。

大しめ縄創作館経常管理費 579万円

指定管理料、パンフレット印刷費、トラック車検費等である。

トラックは町が所有するもので、導入時には町民が借用することができるとの説明だった。

一部の利用は認められるが、限定的である。広く周知し、利用の促進を求めた。

地域おこし協力隊活動事業〈観光〉 819万円

大しめ縄創作館に派遣される協力隊員2名分の活動費。

審査意見

地域おこし協力隊の募集は各課がおのおの行うのではなく、窓口を一本化し、効率的な導入・配置を行われない。

教育魅力化推進事業 505万円

教育魅力化推進員を外部委託し、教育魅力化事業を再構築するためのものである。

審査意見

飯南高校支援を二課で行っているが、所管を一課にまとめ、責任の所在を明確にし、意義のある事業遂行を求める。

常任委員会報告

総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



解体予定の旧谷保育所

令和元年度 飯南町一般会計補正予算(第7号)

一般寄付金 500万円

あすなる基金からの寄付によるもの。

保健衛生総務臨時管理費 1345万円

健康管理システムの導入に係る委託料で、導入後は協会けんぽのデータ取得が可能となり、現在取得可能な国保と後期高齢者加入者データと併せて、家族の健康状態が総合的に管理できるようになる。

令和2年度 飯南町一般会計予算

携帯電話エリア整備事業 4483万円

獅子地区にKDDI基地局を整備するもので、都加賀^{こくら}国倉地区への整備は、令和2年度において事業者単独で予定されており、これにより町内の不感地区は解消される見込みである。

定住促進住宅整備事業 1億238万円

旧来島診療所跡地に3戸整備9398万円と、八神地内での用地取得に840万円を充てる。

外出支援タクシー助成事業 179万円

18歳以上の運転免許を持たない人に、タクシー料金の半額を助成する。

令和2年4月1日以降、運転免許を自主返納された人に、タクシー優待乗車券2万円分を交付し、移動手段の確保と利便性の向上を図る。

障がい者福祉施設整備事業 5800万円

晴雲の里の新築整備に必要な施設整備費9530万円の補助残分4500万円と、舗装外構工事費1300万円を過疎債で支援する。

過疎債は、70%交付措置がある。残りの30%部分は晴雲の里が12年間で分割返納する。

医療従事者確保対策事業 1500万円

これまでの対象者に加え、新たに3名の外国人留学生に助成金を給付する。

子ども・子育て支援対策事業 887万円

出産祝金として、新年度より第1子及び第2子に10万円、第3子以降には50万円を給付する。

子育て世帯給付事業は、新年度から、0歳から2歳未満児の保護者世帯に、月額5000円以内の子供用品を現物支給するものである。

給付方法については十分な検討を求める意見があった。

災害対策臨時管理費 7924万円

旧頓原小学校跡地に、ドクターヘリ臨時離着陸場・消防ポンプ操法練習場などの設備を伴う頓原防災拠点施設の整備に5400万円。

来島基幹集落センター解体工事費1980万円と、その跡地に整備する来島消防防災センターの調査設計費に425万円を充てる。



「晴雲の里」建設用地